

2月2日：VN指数はじわじわと下落 (VN-Index -0.04%)

- 昨日からの良好な投資家心理を引き継ぎ、VN指数は上昇して取引を開始した。
- 市場流動性も昨日より回復し、前場は比較的堅調な株価の推移となった。
- しかし、一日を通して売り方の勢いの方がやや優勢だったことから、全体的にはじわじわと下落して推移する格好となった。
- セクター別にみると、情報技術、小売が昨日と同様に好調に推移していた。一方、メディアセクターは1%以上下落した唯一のセクターだった。
- 199銘柄が上昇、267銘柄が下落、89銘柄が変わらずだった。
- 流動性は大きく回復し、31.0%増の20.0兆ドンとなった。

VN30指数は市場を下支え (VN-30 +0.12%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、10銘柄が上昇し、16銘柄が下落、4銘柄が変わらずとなった。
- BCM (+2.27%) は最も下落した銘柄となった。
- 一方、GVR (+2.71%)、MWG (+2.60%)、HDB (+2.52%)、FPT (+2.10%) と、2%以上上昇した銘柄が散見された。

セクター・個別株の動き

- BCM (-2.27%) は今週初めに23年第4四半期決算の結果を発表しており、売上高5兆596億ドン（前年同期比+475.7%）、純利益2兆510億ドン（同+3542.4%）と、急速な業績回復が確認された。株価は堅調に推移していた分、本日は利益確定とみられる売りに圧力に見舞われた。
- MWG (+2.60%) は昨日、2024年の事業計画を発表。売上高125兆ドン（前年比+5%）、税引後利益2兆4000億ドン（同14倍）と設定され、投資家からの期待を集めた。

- 外国人投資家は2100億ドルの売り越しに転じた。PDR (+4.42%) は最も買い越された。一方、VNM (-0.15%) は最も売り越しされた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。